



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体であるあいおいニッセイ同和損保のメセナ活動として、全国の大学・美術大学と連携し日本画を学ぶ学生、卒業生に発表の場を提供しております。

この企画は、日本画を志す若手作家の育成と共に、各地域の文化芸術の支援活動を通じてあいおいニッセイ同和損保の活動指針である「地域密着」を具体化する取り組みです。

2023 年は、去年の 7 校から新たに 2 校の美術大学を加え、9 校の若手日本画作家がそれぞれの作品を発信するロングラン企画（2 月～8 月）となります。

今回は、3 月 18 日（土）から「多摩美術大学日本画専攻卒業生・修了生四人展」を開催いたします。

■タイトル / 「Beyond」

～第 15 回大学日本画展 <多摩美術大学日本画専攻卒業生・修了生四人展>～

■会 期 / 2023 年 3 月 18 日(土)～4 月 2 日(日) 11:00～19:00 *最終日 17:00 まで
<月曜定休>【入場無料】

* 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリー の HP/ <https://unpel.gallery> または Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery/ をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■参加作家名（ふりがな）

・陳 天逸（ちえん てんい）

・宮崎 篤（みやざき あつし）

・村田 遥香（むらた はるか）

・柳田 佳子（やなぎだ かこ）

■展覧会内容

多摩美術大学日本画専攻を卒業・修了した 4 名の作家による作品を展示いたします。

展示タイトルの“Beyond”には「～を越えて」「～の向こう側に」という意味の他に「（人知の及ばない）はるかかなた」という意味があります。

モチーフも描き方も異なる 4 人ですが、境界を越え、人の手が及ばないようなものを画面に表現しようとするのが共通しています。

陳は、自然物を画面内で単純化することなどにより、抽象と具象の境界を越えようと試み、宮崎は、巨大な力を物質感によって表現しようとしています。村田は、エネルギーを強く感じるものを画面内に再構成し、柳田は、層を重ねることで時間の蓄積を表現しようとしています。

卒業後、それぞれの道を歩みながらも、自分たちの存在を大きく越えたものを画面に表現しようと日々制作を行う 4 人の作品をご高覧いただけたら幸いです。

大作から小品まで、さまざまなサイズの日本画作品を約 15 点程度発表いたします。

■主 催 / 多摩美術大学 絵画学科 日本画専攻

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00 月曜定休（担当 / 中島・内城）

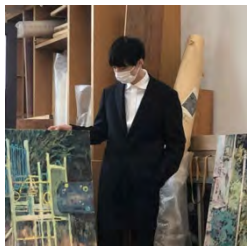
E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

* お問い合わせは E-mail にてお願いします

●作家プロフィール

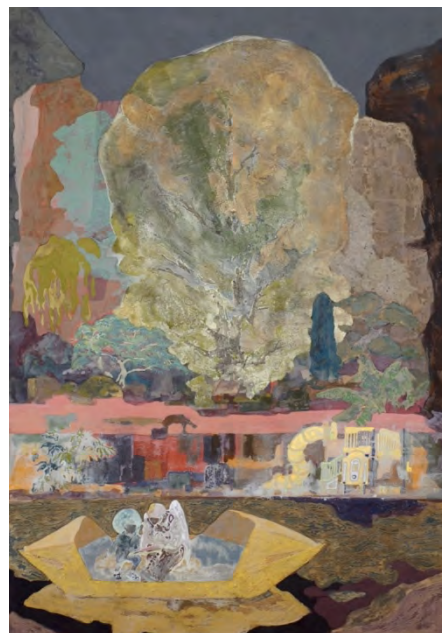
陳 天逸 CHEN Tianyi



1996 中国江蘇省生まれ
2018 中国中央美術学院 都市設計学部 プロダクトデザイン陶芸領域 修了
2022 多摩美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程 絵画専攻 日本画研究領域 修了
東京藝術大学大学院 日本画 第一研究室 入学

展示歴

2020 第47回創画展 入選
2021 多摩美術大学日本画研究領域二年生展「光風霽月」(佐藤美術館/東京都)
2022 美術新人賞デビュー2022 奨励賞
「まほろば展」VOL.5 (耀画廊/東京都)
第45回東京五美術大学連合卒業・修了制作展 (国立新美術館/東京都)
第37回上野の森美術館大賞展 (上野の森美術館/東京都)
「Scene of life 日本画6人展」(OSETTAI ギャラリー田中/小豆島)
Gallery 美の舎学生選抜展 奨励賞



《紙ボート》 1620×1300(mm)
胡粉、岩絵具、水干絵具、高知麻紙 2022

日本に来てから、できる限り行きたい場所を巡り、この穏やかな旅から得た感動を日本画で表現しようと考えた。

宮崎 篤 MIYAZAKI Atsushi



1995 神奈川県生まれ
2020 多摩美術大学 美術学部 絵画学科 日本画専攻 卒業
2022 多摩美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程 絵画専攻
日本画研究領域 修了

展示歴

2020 第43回東京五美術大学連合卒業・修了展 (国立新美術館/東京都)
2021 多摩美術大学大学院日本画研究領域二年生展「光風霽月」
(佐藤美術館/東京都)
2022 第45回東京五美術大学連合卒業・修了展 (国立新美術館/東京都)
那須高原作家協会展 (Gallery Barn/栃木県)



《連なる》(部分) 1820×1820(mm)
岩絵具、水干絵具、高知麻紙 2022

「力」をテーマに、「自然」を主な題材として、絵具の材質を活かした物質感の強い作品を制作している。

村田 遥香 MURATA Haruka



1995 神奈川県生まれ
2020 多摩美術大学 美術学部 絵画学科 日本画専攻 卒業

展示歴

2019 第46回創画展 入選 (以降第47回入選)
三菱商事アート・ゲート・プログラムスペシャルイベント「アートのちから」(丸の内ビルディング/東京都)
2020 第43回東京五美術大学連合卒業・修了展 (国立新美術館/東京都)
村田遥香 個展 (画廊るたん/東京都)
第2回掛軸と絵画の未来展 (田中八重洲画廊/東京都)
2021 第47回春季創画展 入選 (以降第48回入選)



《使者》 1000×1600(mm) 墨、白麻紙 2022

自分にとってエネルギーを強く感じる物を、画面の中に再構成して表現を行っている。
物や生物そのものが持つ、人の手からは離れた所にある力の片鱗を、流れや図形といった目に見える形に表出させることを追求している。

柳田 佳子 YANAGIDA Kako



1997 神奈川県生まれ
2020 多摩美術大学 美術学部 絵画学科 日本画専攻 卒業
2022 多摩美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程 絵画専攻
日本画研究領域 修了

展示歴

2019 第46回創画展 入選 (以降第47回、第48回入選)
2020 日本画四人展 Take Off (ギャラリー青羅/東京都)
2020 第43回東京五美術大学連合卒業・修了展 (国立新美術館/東京都)
2021 多摩美術大学日本画研究領域二年生展「光風霽月」(佐藤美術館/東京都)
2022 第45回東京五美術大学連合卒業・修了制作展 (国立新美術館/東京都)



《stop and flow》 1300×1620(mm)
胡粉、岩絵具、水干絵具、高知麻紙 2022

日本画の「層」や「跡」の時間を積み重ねた平面表現を用いて、移り変わる日々の実感のある美しさを表現したいと思い制作している。